

笑いの座

タロウカツジャーズ！
ラーメン忠臣蔵

または

「現代を生きる」をモットーに、私たちは集まりました。
ともすれば、「お狂言」とか「お舞台」と呼ばれ、何か隔離された世界のように思われ、そのように扱われてきた狂言に、創造期のエネルギーとバイタリティーを取り戻すことが私たちの指針です。こうした目標のもとに、300年来京都で演じ続けた狂言師の家に生まれ育った茂山一門が集結しました。



第1部

※1部は古典作品のうち1つをお選びください。

古典はおいしい

「附子」「柿山伏」など、入門にふさわしい演目をお楽しみいただけます。

狂言はいま日本で上演されている演劇で最古のもの。古いのに超おもしろくて新しい狂言の魅力や、現代を生きる子どもたちに知って欲しい思いで演じます。

第2部

タロウカツジャーズ！

作：茂山童司

狂言の主演といえば太郎冠者！ご主人さまの言いつけでお使いに行ったり、盗み食いをしたりお酒を飲んで酔っぱらったりと大活躍！そんな太郎冠者が今日もご主人の言いつけで用事をしていたのですが、なんとそこに太郎冠者がもう一人？どっちがホントの太郎冠者なのか？はたしてこの狂言はどうなってしまうのか？？

または ラーメン忠臣蔵～メンマの逆襲～

作：茂山童司

時はラーメン歴なんと11年。日本各地で長きに渡り繰り広げられた熾烈なラーメンの国取り合戦も終わり、世は平和を取り戻したかに見えた。しかし、常々スープ一族の長老とんこつにネチネチと嫌みを言われ続けたチャーシューは耐えきれずとんこつを殴り倒してしまった。おこったとんこつはすぐにラーメン一族の会議にてチャーシューをラーメン界から閉め出す事を決定、以後ラーメンにチャーシューは入らなくなってしまった。

この事態に立ち上がったのがチャーシューの部下、ラーメンの具族のメンマ。上司のチャーシューの恨みを晴らすべく、後輩の九条ネギを連れてとんこつスープに殴り込みをかける！果たしてメンマの運命は？ラーメンの未来は？我々は再びチャーシューメンが食べられるのか？日本人の国民食をかけた一大スペクタクルを狂言でお送りします！！

笑いの座

〒602-8493

京都市上京区寺之内通浄福寺西入中猪熊町332

ミホプロジェクト 内

Tel: 075-417-4870 Fax: 075-441-4681

E-mail: info@mihoproject.com